

種別:探Q留学  
期間:2週間 留学時の学年:2年

河野 一輝 さん



## ケニア ソイサムブ自然保護区

### 留学のきっかけ

私は、昔から科学雑誌や科学番組を読んだり見たりすることが好きで、世界の色々な環境について知れる機会が多くありました。そのため、人生の中で1度はサバンナなどの日本とは全く違った環境をこの目で見てみたいと思っていました。そんな中でこの奨学金の制度を知り、せっかくの機会なので、実際にサバンナに行こうと思い至りました。そして、海外の企業のインターンに応募し、長年望んでいたサバンナを訪れることができました。

### 留学全般

#### 一番の思い出

私の留学中の1番の思い出は、実際にサバンナを走る動物をこの目で見る事ができたことです。過去にも、テレビ番組や雑誌などで、走るシマウマやインパラなどの映像や画像を見ることがありました。しかし、いざ自分の目でみると、シマウマの足が想像よりも少し短かったり、サバンナにはインパラしかないと思っていたのがインパラに似た動物が多くいたりなど、映像を通してでは分からない発見をたくさんすることができました。

#### 英語学習

私が参加したのはボランティア活動のため、英語の授業を受けることはありませんでした。しかし、ルームメイトやスタッフは外国人だったので、コミュニケーションをとるためには英語を使う必要がありました。最初は自分の英語力があまり良くなかったのも、何を話しているのかが分からなかったり、自分の言いたいことがうまく伝えられなかったりしました。そのため、相手が何について話しているのかに注意を払ったり、会話の際にはシンプルで分かりやすい表現を使ったりしたことで、活動前と比べ英会話の能力がかなり上昇したと感じました。

#### 授業外の活動

ボランティア活動の無い日は、近くにあるNakuruという街に買い物に行ったり、赤道直下の地点まで遠出したりしました。ケニアでは、すれ違う時にほぼ全ての人が挨拶をしてくれたり、子供も積極的に目を合わせてきてくれたりし、日本とは異なる点としてとても新鮮だと感じました。



## 留学したことで学んだこと、得たもの

私はこの留学で世界には日本と全く違う文化があることをこの目で確かことができました。例えば、ケニアの物価は日本と比べて物凄く低かったり、街に信号機が無かったり、子供がハイタッチしに来てくれたりなど、日本では到底考えられない経験をたくさんし、自分の中の常識が覆されました。私はこの留学を通して、日本で身につけた常識は他国では役に立たないことがありと知りました。また、物事を考えるときは、一つの視点に囚われてはいけないということを深く実感しました。

## 今後の進路や夢、これから取り組もうと思っていること

私は将来、大学で野生動物や自然環境に関係することを学び、実際に環境の保護に携わる仕事に就きたいと考えています。そのために、高校生でケニアへ留学に行ったことを活かし、将来大学で環境について学ぶ際に、今回の留学で得た「全く異なる価値観から考える力」を活かしたいと思います。

また、私は、日本で野生動物の保護に対する関心を高めたいと思いました。ケニアで得た知識や体験を日本に持ち帰り、日本での環境保護や野生動物保護の状況と照らし合わせて状況を考察し、その内容を多くの人に伝えていきたいです。

## これから留学される方へのメッセージ

私は、海外に行くのは初めてで、学校での英語の成績もとてもよかったわけではありません。そのため、留学前は英語が話せるかどうかがとても不安でした。しかし、いざ海外に行ってみると、綺麗な文章で話せなくても、単語やボディランゲージで割と自分の伝えたいことが伝わるとわかりました。そのため、留学に行く際は、きれいな英語を話すことより、まず人に話しかける自信をもつことの方が大事だと思ったので、みなさんもそのことを意識してみてください。



種別:海外短期留学チャレンジ  
期間:2週間 留学時の学年:1年

土生 敦樹 さん



## カナダ トロント

### 留学のきっかけ

英語のスピーキング力とリスニング力を高めたいと思っていた時に、上記事業の募集要項を見て、他国の文化や生活を通して経験を積むという意味でも大きなチャンスだと思ったからです。

### 留学全般

#### 一番の思い出

他の留学生たちと様々なことについて話したことです。

### 英語学習

現地での授業は、文法を学ぶというよりは、「リサイクルのあり方」などのテーマついて、思考し表現するという内容が多かったですが、自分の考えをうまく表現することが難しいと感じました。また、クラスの友達と話す機会が多りましたが、ほとんどがメキシコ人で、英語を喋り慣れていたため、リスニングが難しかったです。

### 授業外の活動

ナイアガラ滝など、さまざまな場所に行ったり、他の留学生たちとゲームをしたりしました。その中で、海外の文化や生活でよく使う英語を学ぶことができました。



## 留学したことで学んだこと、得たもの

自分のリスニング力、スピーキング力を伸ばしていかなければならないと気づきました。また、海外の学生たちは、とても社交性がある一方、日本人だけが初対面でもじもじしていました。そこは良くない部分なので、自ら積極的に話せるように努力しなければならなかったと思います。日本が最も住みやすい国という話を聞いたことがありましたが、思っていたよりも、トロントは治安も街並みも人々の優しさも、日本と変わらないと感じました。その他にもこれまでの固定観念が崩れて新たな考えをもてるような体験を多くしました。

## 今後の進路や夢、これから取り組もうと思っていること

今後については詳しく決めていませんが、今回のような海外経験を活かして、世界を舞台にした仕事をしたいと思います。そのためにはテストの英語だけでなく、実用的な英語が必要なので、リスニングやスピーキングを意識した学習をしたいです。具体的には、YouTubeなどの英語の動画を見聞きしたり、自分の考えを英語で表現する時間を作ったりしたいです。

## これから留学される方へのメッセージ

留学先によるかもしれませんが、大体の場所は自分たちが想像しているよりも日本に似た人々や街並みであることが多いです。違いばかりを見るのではなく、「郷に入ったら郷に従え」でその文化を受け入れて楽しむことが大切だと思います。海外の学生たちはほとんど話しかけてくるので、一方的に相手の質問に答え続けるだけでなく、自分から話しかけていくとより仲が深まります。とにかく楽しむを目標にするといいと思います。

種別:エディンバラ語学研修  
期間:3週間 留学時の学年:2年

竹中 うた さん



# イギリス エディンバラ

## 留学のきっかけ

私は高校1年生の時に学校のプログラムの洛北Global Leadership Program (洛北GLP)に参加し、そこで海外で活躍する日本人の方々の姿を見ました。そこから、私も日本だけではなく、海外も視野に入れて仕事ができる人になりたいと思うようになりました。そして、私は「洛北GLPでの学びを高校生のうちに活かすことができる機会がもう一度欲しい、高校2年生がその最後の機会だ」と思ったので、このエディンバラ研修に参加しようと思いました。

## 留学全般

### 一番の思い出

エディンバラは、別名フェスティバル・シティと呼ばれるほど、年間を通じて様々なイベントがあります。中でも特に、8月は非常にたくさんのお祭りがあって街はとても賑わっています。私の1番の思い出は、ミリタリー・タトゥーという音楽祭です。その音楽祭に行くためには、事前に予約が必要で、会場はエディンバラ城の前の野外にありました。世界各国から集まった音楽隊が順番に演奏していき、インドやアメリカ、ポーランドなど、様々な国の演奏を生で聴くことができました。2時間があったという間に過ぎるほど私はお祭りに熱中していて、フィナーレのバグパイプの音が今でも忘れられません。

## 英語学習

エディンバラカレッジでは、毎日午前中にGeneral Englishと呼ばれる英語の授業があります。クラスは事前のテストや面接で分けられるので、自分のレベルに合った授業を受けられます。最初の方は、スコットランド特有の英語で聞き取りにくいこともあるかもしれませんが、だんだん慣れてくると思います。現地には、様々な国から集まった人たちがいて、パナマ、ハンガリー、ドイツ、メキシコ、イタリア、ポーランド、スペインなどから来ている人たちがいました。授業は全て英語で、ディスカッションをする機会が多くあり、様々な国の人たちと交流するのはとても楽しかったです。また、自分の知らないことが、まだまだたくさんあるのだと気付かされました。クラスの英語の先生たちは皆優しく、わからないことがあれば、なんでも笑顔で教えてくださいました。

## 授業外の活動

週に2回、午後からSocial Programというものがあり、エディンバラの市内のいろいろなところへ行くことができます。チョコレート作りをしたり、サーカスを見に行ったり、ハリーポッターツアーがあったりと、どれも非常に楽しいプログラムでした。また、土曜日は丸一日バスで遠出をします。その際は、お昼ご飯は自由行動となるので、友達と一緒に勇気を出して、おしゃれなレストランに入ってみたりなど、各自で楽しめることがたくさんあると思います。

## 留学したことで学んだこと、得たもの

留学を通して、世界にはいろんな人たちがいるということを改めて感じました。その中で、自分がどう上手くコミュニケーションを取り、相手に伝えるかが大切だと思いました。また、現地での生活で、SIMカード、イベントのチケット、カードの番号などを自分で設定するうちに、今まで自分がどれだけ親に任せきりにしていたのかと気付かされました。自分のことは自分で責任を持って管理するということの重要性を学びました。

## 今後の進路や夢、これから取り組もうと思っていること

私は今回の留学で、海外で働いて、海外に住みたいという思いが一層強くなりました。そのために、今できることは何かを考えて、毎日を大切に過ごしていきたいと思っています。

## これから留学される方へのメッセージ

留学というと、英語や現地での生活など、色々心配になることもあるかと思いますが、そんな時は、付き添いの添乗員さんや現地のスタッフ、友達など頼れる人がたくさんいるので、大丈夫です。私も、初日からスーツケースがなくなるというハプニングがありましたが、無事見つり、なんとかなりました（急カーブで車のトランクからポロリと落ちてしまっていたらしいです…）。また、ホームステイも、ホストファミリーとしっかりコミュニケーションをとれば、何も心配することはないです。素敵な家族が迎えてくれるはずです。ぜひ、留学を通して素敵な思い出をたくさん作ってください！



種別:トビタテ!留学JAPAN  
期間:2週間 留学時の学年:2年

伊藤 陽大 さん



# イギリス ノリッジ

## 留学のきっかけ

高校の学校説明会で掲示されていたチラシを見た時に、留学してみたいと思いました。

## 留学全般

### 一番の思い出

決めきれませんが、やっぱり自分の興味のある探究活動の時間が一番印象に残っています。同じことに興味がある人と話す経験はとても新鮮でした。

### 英語学習

とにかく、積極的に人と話すことが何よりの学習になると感じました。また、わからないことがあればすぐに聞き返して、理解した上でどんどんインプットすることを心がけました。英語はまだまだ頑張らないといけないと感じましたが、コミュニケーションをとるという上ではとても自信ができました。

### 授業外の活動

私の場合、語学留学ではなく研究所に留学したため、ほとんどが探究活動でした。考古学の発掘調査、ディスカッション、フィールドワークなど様々な活動を通して自分が持ったテーマを多方面の視点から探究することができました。

## 留学したことで学んだこと、得たもの

自分の探究テーマについての知識やスキルはもちろんですが、留学で得た刺激は唯一無二でした。その上で自分の課題や今後のビジョンが見えて、抱えていた将来への不安を少し拭えました。また世界中にコネクションができ、今後の活動の助けになってくれる人がたくさんできました。そのつながりも留学で得た大切な財産です。

## 今後の進路や夢、これから取り組もうと思っていること

私は今回の留学で本格的に現地の大学に行きたいと感じましたが、学費の面で厳しいことがわかりました。そのため、日本の大学に籍を置き、交換留学などの留学制度でもう一度英国に戻って、自分の興味のある研究をしたいと思っています。

## これから留学される方へのメッセージ

高校生での留学はいい意味で今後の人生を大きく左右する体験だと思います。毎日が刺激的で、「自分を見つめ直す」ことができ、その中で自分は将来何をしたいのかが自ずと見えてきます。ぜひ、世界に出て自分の興味の視野を広げてみてください。



種別: オーストラリア語学研修  
期間: 2週間 留学時の学年: 2年

福永 紗季 さん



# オーストラリア アデレード

## 留学のきっかけ

わたしはこれまで海外に行ったことがなかったため、海外の文化に強い興味を持ったのがきっかけです。ホームステイで日本と異なる文化を体験し、語学学校に通うことで他国の人々の考え方や価値観を学べると思ったことが大きな理由でした。将来は研究者として世界に向けて発信したいと考えているので、高校生の頃から多様な文化に触れ、創造力を広げ、柔軟な考え方を身につけたいと思いました。また、海外に行くことで英語によるコミュニケーション能力を高めたいという気持ちもありました。

## 留学全般

### 一番の思い出

学校でのお別れパーティーが一番の思い出です。バディや学校の先生、ホストファミリーが集まってくれて、みんなで食事をしました。テーブルではバディとホストファミリーを交えてたくさん会話ができて、とても楽しかったです。日本人のみんなと練習したダンスを披露できたことも嬉しかったです。このパーティーはバディとの最後の時間、そしてホストファミリーと食べる最後の夕食だったので、お別れはとても寂しかったのですが、楽しいひとときを過ごすことができました。

### 英語学習

現地では、英語だけでなく、数学や体育、家庭科、ドラマなどさまざまな科目の授業を受けました。授業は全て英語で行われたので、はじめは聞き取ることに苦労しましたが、3日目ぐらいいからはリスニング能力が上がったと感じました。日常会話はほぼ問題なくできるようになりましたが、カタカナ英語はなかなか伝わりにくく、辞書やスマートフォンで発音を調べることもありました。

### 授業外の活動

課外学習では、ワイルドライフパークやアデレードの都市部を訪れました。カンガルーに餌をあけて、バディとの仲を深められたのがとても良かったです。学校の休み時間はバディとその友達と過ごし、オーストラリアのお菓子や家族などについて、色々と話せて楽しかったです。ホストファミリーにはたくさんドライブに連れて行ってもらいました。ビーチで夕日を見たり、海辺で犬と散歩をしたり、丘の上にあるチョコレートファクトリーに行ったりしました。家にいる時は一緒にフットボールを観戦したり、日本の文化を紹介したりしました。どれも楽しかったです。

## 留学したことで学んだこと、得たもの

英語にもさまざまな種類があることを学びました。わからない単語があっても、似た単語を使ったり、説明やジェスチャーで伝えたりすれば、意外と通じると実感しました。自分の思いを正直に伝えたり、積極的に話しかけたりする力がついたと思います。また、異文化の中で柔軟に適應できる力を身につけることができました。日本の文化をパディに紹介するために、伝統的なものやお菓子について改めて学んだことも良い経験でした。博物館に行くことで、オーストラリアの歴史も少しですが知ることができました。自分の身を違う環境に置いてこそ得られる学びがあると感じました。

## 今後の進路や夢、これから取り組もうと思っていること

私は理学部か医学部に進学して医学研究者になりたいと考えており、グローバルに活躍できる人材を目指しています。海外の人とこれからもたくさん関わって、異文化を知り、視野を広げ、たくさんの人の価値観や考え方を理解できる人になりたいです。これから取り組みたいことは、英語の学習をさらに強化すること、主体性や積極性を育むために色々なことにチャレンジすること、そして多様な文化に触れつつ、日本の伝統文化を海外の人々に伝えることです。留学を通じて、自分の知らないことやチャレンジできることは無限にあると実感したので、今後はさらに多くのことに挑戦していきたいと思っています。また、語学を学ぶことで、より多くの人とコミュニケーションができ、さまざまな情報を得られると知り、語学を学ぶことはとても楽しいと感じました。

## これから留学される方へのメッセージ

留学に行く前は「英語が話せなかったらどうしよう」、「現地で友達ができるか不安」など、心配になると思います。でも、実際に行ってみるとどうにかになります。単語を思い出せなくても、ジェスチャーや似た言葉で大体伝わります。食事や家のづくり、道路など日本とは全く異なる文化に触れることができ、とても楽しかったです。現地の人も優しいですし、一緒に行く日本人の仲間ともすぐに打ち解けれます。ホストファミリーも優しいです。2週間はあっという間なので、初日から積極的に話しかけることをおすすめします。ぜひ楽しんでください。

